

## 「事業復活支援金」個人50万円上限 JA庄内たがわ、相談受付を開始

JA庄内たがわでは、コロナ禍の「事業復活支援金」申請の相談受付を、24日から開始しました。

11月から3月まで

で異なります。

「事業復活支援金」

は、2021年11月～22年3月の5カ月間の

うちの任意のひと月、

または連続する3カ月

を対象として、20年・

19年・18年の同月・同

時期を基準として比較

し、売り上げが30%以

上、下落している場合

は、個人で上限30万円、

50%以上の場合は、同

50万円の給付を受ける

ことができるものです。

法人は、売上高規模

10月以前は月次支援

金（売上減少50%以上）

があったので、復活支

援金は11月からの設定

になっています。

それまでに委託・販

売した生産者は、救わ

れない問題があります。

JAの相談は、事前

確認が第1次4月13日

まで、第2次5月20日

まで、各JA支所の営

農課が窓口です。

事業説明会は、地区

ごとに期日指定で案内

されています。

### ←日本共産党のはてなリーフから④

2020年秋の「持続化給付金」100万円の時は、庄内農民連が相談を受け付け、申請したほとんどの農家が給付を受けましたが、JAは対応しませんでした。

### 若者を「殺し、殺される」戦場に送らない

自衛隊の問題で、いまいちばん大事なことは、なくすかどうか、ではありません。災害復旧などで汗を流す隊員たちを、安保法制を発動し、アメリカの戦争に派兵し、「殺し、殺される」戦場に送りこんでいいのか、にあります。私たちは絶対反対です。

### 国民が「なくても安心」となるまでは存続

共産党は、いまずぐ自衛隊をなくそうなどと考えていません。将来、アジアが平和になり、国民の圧倒的な多数が「軍事力がなくても安心だ」と考えたときに、はじめて憲法9条の理想にむけてふみだそうと提案しています。

### 万が一、「急迫不正」の侵略をうけたら…

自衛隊もふくめて、あらゆる手段をもちいて命を守ります。国民の生存、基本的人権、国の主権と独立を守るのは、政治の当然の責務だからです。



海外の戦争で  
血を流させない

自衛隊



5

## 藤沢周平を読む 28

鈴木重雄（八色木）

杉山頼母は、忙しい中でも名医をさし向け、ほかに望むものがあれば、この際だと言ったが、井口清兵衛は固辞して、妻女の養生についての援助だけを受けることにした。

うござります。それに、少し……」

「なんじゃ？」

「はい。もったいな

いことですが、少し美

食に飽きました」

「それなら家にもど

るしかないの。おのぞ

み、妻女は順調に回復

した。

「おまえさま、雪の

降るまでには、すつか

り元気になるかも知れ

ませんよ。はやく、ご

飯の支度をさし上げ

たい」

「無理することはな

い。じっくりと様子を

みることだ」

小春日の青白い光

が、山麓の村に降りそ

そいでいる、夫婦の愛

情物語である。

この情景は、湯田川

温泉一本松あたりであ

ると思われるのだが、

どうだろう。

「はい、そころと……」

「しかし、ここに

いるのも、雪が降るま

で、さほどひまはか

からなかった。

「ひとり歩けたの

か？」

「はい、そころと……」

「しかし、ここに

いるのも、雪が降るま

で、さほどひまはか

からなかった。

「ひとり歩けたの

か？」

「はい、そころと……」

「しかし、ここに

いるのも、雪が降るま

で、さほどひまはか

からなかった。

「ひとり歩けたの

か？」

「はい、そころと……」

「しかし、ここに

いるのも、雪が降るま

で、さほどひまはか

からなかった。

「ひとり歩けたの

か？」

「はい、そころと……」

「しかし、ここに

いるのも、雪が降るま

で、さほどひまはか

からなかった。

「ひとり歩けたの

か？」

「はい、そころと……」

「しかし、ここに

いるのも、雪が降るま

で、さほどひまはか

からなかった。

「ひとり歩けたの

か？」

「はい、そころと……」

「しかし、ここに

いるのも、雪が降るま

で、さほどひまはか

からなかった。

「ひとり歩けたの

か？」

「はい、そころと……」

「しかし、ここに

いるのも、雪が降るま

で、さほどひまはか

からなかった。

「ひとり歩けたの

か？」

「はい、そころと……」

「しかし、ここに

いるのも、雪が降るま

で、さほどひまはか

からなかった。

「ひとり歩けたの

か？」

「はい、そころと……」

「しかし、ここに

いるのも、雪が降るま

湯田川温泉入口の一本松（昭和の絵はがきから）



# し尿処理施設改修の予算削除で、三川町から「経緯報告書」

三川町議会で、鶴岡市の「し尿・浄化槽汚泥等投入施設」の改修に関連し、基本計画策定業務の町の負担金118万円が、予算案から削除された問題で、三川町建設課長名で16日、「経緯報告書」が鶴岡市に届けられました。

## 費用も負担する

三川町は、今後の対応について、「一般廃棄物処理は規約、協定等に基づき、鶴岡市に委託しており、し尿及び浄化槽汚泥についても、鶴岡市に委託したいと考えている。施設整備費用も負担していきたい。予算の確保は、新年度において、議会の理解を求め、その確保に努める。」としています。

## 三川町議会は負担金支出認めない

三川町議会では、14日の予算審査特別委員会で、負担金118万円の支出を認めないとする修正動議が出され、委員長を除く賛成5、反対3で可決。15日の本会議で、118万円を削除した修正案が、議長を除く賛成6、反対3で可決されました。

修正動議を提出した議員は「鶴岡市との取り決めは、施設の可能な範囲での処理を委託しているのみで、施設の将来まで影響を及ぼすものではない。改修費の負担は規約に盛り込まれていない」と主張しました。

## 当時の経過説明必要

ゴミ処理施設の協定書（令和3年3月）は、「施設整備費は10%の均等割と90%の搬入量割。施設運営費は搬入量割と三川町が一般管理費の15%」とされています。

榎本前市長の時に、三川町のゴミ処理受け入れの協議が難航し、

それが協定書に反映しました。

10%均等割があることで、両市町の1人当たり負担額は、2倍の開きになっています。

三川町が、当時の経過を丁寧に町議会に説明し、予算化されなければ、ゴミ処理問題が再燃しかねません。



# ひと

## 日下部勇一（庄内町榎島） 波瀾（乱）万丈の人生

青山 崇

### ■新潟地震―印刷会社の厳しさと楽しさ

働いても生活が苦しくなる社会のしくみを知り、「歌って踊り学ぶ活動で」青年らしく楽しく活動した。

ところが、昭和39年6月16日13時1分、新潟県粟島沖で発生したマグニチュード7.5の地震が起きた。

庄内では校舎倒壊で幼稚園児3人、酒田中学校生が地割れに挟まれ1人の4人の死者が出た。

旧余目町では、水田陥没や住宅半壊などで、約4180万円の被害額だった。

倒れないように出来なかったのか！」とぼやいていた。そうだよ、活版印刷の心臓部だからね。

散乱活字を元のケースに戻すのも大変で、完全復旧まで1年ほどかかったと記憶している。

また選挙になると新聞社の号外印刷の注文が入り、そのため数版を作り「試し刷り」をすませて、得票が確定次第に印刷に入る。夜中から明け方までかかる大仕事だった。

中には「お握り」を



### 侵略をやめる

近代的な都市の大きな建物が燃えている。これに、ミサイルなどがいつどこから飛んでくるか分からない危険を顧みず、火を消すのに懸命な人達がいる。

この情景をプーチンは見ているのだろうか。▲人道回路を確保し、避難させると約束しながら、発砲によって避難できずに逃げまどっている大勢がいる現実を、プーチンは知っているのだろうか。

▲自分だけが納得する理由で他国を侵略したんだ。だから、なぜ自分が隣の国で銃を振り回しているのか分からないと、捕虜になった若い兵士の話が報じられている。その青年も本当のことを知っていれば、反戦のデモに参加していただろう。

▲可哀そうなのは、今のロシアではそんな反

持つて来られる奇特な方がいて、会社で食べるお握りは、また格別な美味しさであった。



（新潟地震の液状化で、大きく傾いた県営アパート）

戦行動は許されないと。ただの白紙を広げているのに逮捕されたことが報道された。彼らは、本当のニュースをフェイク（ウソ）だと言っているが。

▲国民に真実は知られたくない。本当のことを知れせられては困るから、知らせた者はウソを報じたと禁固15年の刑にする法律を作った。だから、真実報道の外国人記者は書けない。これでプーチンに都合の良い報道しか流れないことに。これは先の日本での大本営発表と同じだぜ。本当のことは知らせないし、反対する者は治安維持法で逮捕したんだ。

▲長くは続かないよ。世界を敵に回してウソを通せる訳がない。しかし、一日でも一時間でも早く戦争が終わるよう、戦争はやめろと大きな声をプーチンに。ウクライナには少しのカンパを。（石川）